

休業者管理クラウドサービス ADVANTAGE HARMONY

株式会社アドバンテッジリスクマネジメント

<https://www.armg.jp/business/advantage-harmony/>

休職対応の抜け漏れゼロへ。休業者とのやりとり・申請・記録・スケジュールをスマート管理し復職まで安心サポート。

提供可能エリア(可能エリアが青塗)				サービスの概要・特徴
北海道	東北	関東	甲信越	<p>ADVANTAGE HARMONYは、企業における（メンタルヘルス不調等の）私傷病休業等の休業者管理業務の効率化と休業者の円滑な復職とその後の両立を支援するサービスです。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> スケジュール計算とタスク管理サポート 再休業時の通算処理等の休業期間の計算や、休業中に行う各種タスクのスケジュール作成等を、システムが自動計算してサポートします。加えて、予定されているタスクの実施状況について、実施の抜け漏れもシステムが自動的にサポートします。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 休業管理に関するコミュニケーションのサポート 休業者との連絡や、管理者間での情報交換を行う各種機能を実装しています。また、面談に関する記録や提出された（診断書等の）ドキュメントファイルを保存することができます。各種コミュニケーション記録を集約して管理することを可能としています。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 各種申請機能（ワークフロー） 休業に関する各種手続きのワークフロー機能を実装しています。休業申請手続きや、復職申請手続き、その他各種見舞金の申請等にご利用いただくことができます。</p>
北陸	東海	近畿	中国	
四国	九州	沖縄	海外	
提供可能法人規模（◎：実績あり、○：提供可）				
50人未満	1,000人未満	10,000人未満	10,000人以上	
○	◎	◎	◎	
サービスの目的・期待される効果				
【凡例】◎：実証評価 ●：理論的裏付け ○：ユーザー評価				
基盤整備	法制度対応		—	
	制度・施策体系の整理		○	
	人事・産業保健業務の効率化・負担減		○	
	組織状況の把握		—	
取組の普及・浸透	サーベイ受検率向上		—	
	相談窓口の利用率・認知率向上		—	
	プログラムへの参加率・利用率向上		—	
	不調の早期発見・対応		—	
	ヘルスリテラシー・意識向上		—	
	仕事のストレス要因低減		—	
	心理的安全性・上司のサポート力向上		—	
	周囲のサポート力向上		—	
心の健康・業務パフォーマンス	生活習慣の改善		—	
	健康状態・心理指標改善		—	
	アブゼンティーズム改善		—	
	プレゼンティーズム改善		—	
	ワーク・エンゲージメント向上		—	
	従業員エンゲージメント向上		○	
	労務指標改善（離職率、残業時間等）		—	
導入企業の評価				
<p>以下のような業務効率化に役立てていただいています。</p> <p>①休業者管理のタスク整理 エクセルに予定を立てて管理していたが、システムにより自動計算され当該作業時間が短縮された。</p> <p>②情報の共有 休業情報を、給与担当や社会保険担当、産業保健スタッフ等との共有することについて、これまで共通基盤管理が難しく個別に資料を別途作成し共有していたが、システム内連携により当該作業時間が短縮された。</p> <p>③休業者への連絡 休業中は社内の各種ツールの利用ができないため、手紙やメール、電話等で行ってきたが、連絡が滞りがちで督促等の業務負担が大きかった。システムにより繋がることで、連絡がスムーズになり当該業務時間が短縮された。</p> <p>④各種記録の一元管理 面談記録や、本人との連絡の記録、休業歴等が画面で一元管理できるため、情報を探す時間が大幅に削減された。</p> <p>⑤各種申請 これまで休業者からの申請等は紙ベースのやり取りが中心だったが、書類の郵送や不備の訂正等に時間を要していた。HARMONYで休業者もデジタル申請が可能となり、当該業務の負担が軽減された。</p> <p>※メンタル休職だけでなく、産育休や介護休においてもご利用いただけます。</p>				

休業者管理クラウドサービス ADVANTAGE HARMONY

株式会社アドバンテッジリスクマネジメント

<https://www.armg.jp/business/advantage-harmony/>

理論的裏付け

採用している理論の概要

休業者管理業務の効率化ツールですので、特定の心理学理論等の適用は対象外。

実証評価

学術介入の有無

学術研究機関等による科学的な効果検証

学術研究期間等が介在しない独自の効果検証

エビデンスの水準

ランダム化比較試験

非ランダム化比較試験

単純前後比較などの準
実験的研究

コホート研究

横断研究または症例対
照研究

実証評価の結果概要

業務管理システムため対象外。